

令和7年度 ル・ソラリオン 事業計画書

1. 施設理念

ご利用者の意思を尊重し、最期まで安心した生活を支援します。

2. 施設方針・テーマ

—「地域から信頼されるサービスを提供します。」—

《ビジョン》

ご利用者の「自分らしさ」に寄り添い、最期まで本人の価値観が尊重され生活できる施設を目指す。

3. 実施事業及び定員

(1) 従来型 介護老人福祉施設	定員 35名
(2) ユニット型 介護老人福祉施設	定員100名
(3) 従来型 併設（介護予防）短期入所生活介護＋空床型	定員 10名＋空床利用
(4) ユニット型（介護予防）短期入所生活介護 空床型	定員 空床利用
(5) 身体障害者短期入所事業	定員 空床利用
(6) 身体障害者ユニット型短期入所事業	定員 空床利用
(7) 障害者日中一時支援事業	定員 1名（湯梨浜町のみ）

4. 重点目標

抱負・目標

■最期まで安心した生活を提供する。

・「その人らしさ」の尊重。

1日1日を大切に、安心して日常生活が送れる活動を取り入れる。

日々、喜びを感じ、最期までその人らしく生活できるようにご利用者の生活を支援する。

■人づくりに取り組む。

安心、安全で専門性の高い良質なサービスを提供する為、「知識」「技術」「実践力」を身につけた職員の育成に取り組む。

■介護ロボット・ICTを活用した現場改革に取り組む。

介護ロボット、ICT機器を活用し各チームケアの深化、オンライン教育、業務改善などを通じて質の向上と介護現場の生産性、効率性を高めていく。

(1) 人材育成と職場定着

◆施設の組織力、職員力、現場力の強化を行う。

①職員個々の能力のレベルアップとリーダーの育成に取り組む。

（重点分野：認知症、口腔、ノーリフティングケア等）

②職員が働きやすく、働きがいの向上の為、職場環境の見直しに取り組む。

・体系的な研修体制を作成して法人内研修、外部（オンライン含む）研修の機会を増やし、他の施設等の動向を知り施設ケアの質のアップにつなげる。

・リーダーレベルの研修を企画、実施をし、業務改善への取り組み、認知症リーダーによる研修、事例検討会を実施し、専門能力アップにつなげる。

・施設で重点的に取り組む研修を明確にして年間研修計画の運用。

・ICT活用、介護補助等の活用による生産性向上に向けた取り組みを通して、職場環境に改善

を行う。

- ・ノーリフティングケアに取り組む。(腰痛対策、移乗技術の標準化、自立支援)

(2) 利用者へのサービス提供

◆個別ケアの充実(自立支援と生活意欲の向上)

- ①ご利用者一人ひとりの「日々の喜びや楽しみ」への支援を行う。
- ②チームケアを深化させて自立支援と重度化防止への取り組みを行う。
- ③「眠リスクキャン」及び「科学的介護(LIFE)」を活用した質の高い介護の提供に取り組む。
 - ・介護のエビデンスの蓄積と分析、フィードバックデータを通じてケアの質を高める。(LIFE、眠リスクキャン)(移乗リフトを活用して、一人ひとりのニーズに合わせた生活支援を実践、眠りSCANをアセスメントツールとして活用し、ケアの質を高める)
 - ・チームケア(褥瘡、看取り、認知症等)の取り組みを強化して多職種による連携を通じてケアの効果を確認、評価する。
 - ・機能訓練、口腔、栄養の一体的取り組みの体制構築。

(3) リスク対策(感染・事故・災害・資源等)

◆各リスクに対する対応力の強化

- ①介護事故(介護中及び発生が多い事故)の分析、予防、再発防止に取り組む。
- ②感染症、災害への対応訓練の実施と各事業継続計画(BCP)の周知と実践。
- ③人材の確保と定着に取り組む。(業務改善、労働安全衛生、ICT整備等)

- ・法人、施設のリスクマネジメントに関する活動を充実、強化する。

各委員会の役割を整理し組織を見直して各課題等の解決に向けた取り組みを行う。

新設委員会(介護DX推進委員会、ノーリフティングケア推進委員会)

- ・人的資源をリスクとしてとらえて、環境を改善し人材の確保と定着に取り組む。業務改善：記録のICT化、ノーリフティングケア、業務の標準化の検証(手順書の見直し)、業務の分業化・オペレーションの見直し(ムダの削減)。労働安全衛生：腰痛予防、超勤削減 ICT 整備、情報提供等：記録の効率化、ペーパーレス化、情報共有に取り組む。
- ・事故防止のアセスメント強化により、介護中事故ゼロ、レベル3事故発生の減少に取り組む。

(4) 施設・設備整備

◆安心、安全で快適な施設内外の生活環境、職員の職場環境の整備を行う。

- ①介護ロボット、ICTを導入して職場環境の改善に取り組む。
- ②設備機器の計画的な更新。

- ・職場環境改善

(特浴整備_ミスト浴槽)、眠リスクキャン導入全エリア設置(105台)、インカム設置。
ナースコール更新

- ・備品更新：ケア関連備品を更新

電動ベッドの更新(10台)、フレックスボード等
厨房備品の更新(ブラストチラー等)
ハイエースの更新(7月)

- ・介護ロボット：介護リフト導入後の運用検証
- ・職場環境、生産性向上の為の介護記録ソフトの有効活用及び研究

（５）地域連携・社会貢献

◆地域に「ル・ソラリオンの持つ機能」を還元し施設機能を活用した地域社会活動に取り組む。

- ①「はあとプログラム（マグノリア、ソラリオン、サンテリオン共同地域社会活動）の実施
- ②施設の情報発信を強化して次世代の人材育成に取り組む。

- ・地域貢献活動の実施

「はあとプログラム」の実施

認知症カフェを地域カフェとして実施（年２回 パープルタウン）

はあと食堂（地域子ども食堂（上井地区）の開催（年間３回）

地域のサロン活動に参加（企画運営）

「ソラリオン劇団（仮称）」の結成（知って安心認知症！の寸劇）

- ・オンライン（Zoom）を通じた地域交流企画を積極的に実施。

小学校、中学校へ企画提案型の交流行事の実施

- ・保育所・倉吉総合産業高校、養護学校等との交流促進
交流の定例化と交流先の拡大
- ・地域公民館との連携（地域サロン企画運営、公民館活動への参加）
- ・マグノリア地域包括支援センターと連携した福祉教育活動の実施
地区支援活動へ専門職の参画（各自治区の活動へ）
- ・HPへの記事のアップ回数を増やす（月３回以上）

（６）経営管理

◆事業の安定経営

- ①入所１２５名、短期入所１５名の目標達成。
- ②医療・介護の連携強化に向けた取り組みを強化する。
（協力病院との連携、ご利用者の情報収集・提供）
 - ・ベッドコントロールによる完全空床数の減少（目標値：２０床/月）
 - ・入院者数の削減：８人/日
 - ・口腔ケアの体制を整備して誤嚥性肺炎による入院者の減に取り組む。
 - ・藤井政雄記念病院との連携強化（月２回の連携会議の開催）
（Ｒ６年報酬改定から特養の医療的ケア強化に向けた現状分析と取り組み）
- ・経費削減への取り組み（光熱水費等）
削減の行動計画を作成して実績を分析、公表
- ・Ｒ６年介護報酬改定から新規の加算を算定する。
 - ①口腔衛生管理加算（Ⅱ）、生産性向上推進体制加算（Ⅰ）を取得する。

５．新規事業

「はあとプログラム」（マグノリア、サンテリオン、ソラリオン合同の地域社会活動）の実施。